



御神船

「御神船」とは、伊達藩の時代、物資流通や大漁祈願の海渡りに活躍した船が称賛されて「御神船」と呼ばれるようになりました。

2022
(令和4年)
新春
特別号

不許複製：禁無断転載・引用 = 敬称略 =

仙台水産ホームページ www.sendaisuisan.co.jp

仙水グループ広報

会長年頭所感 島貫文好



新年あけましておめでとうございます。

仙水グループ800名とその家族の皆様方にはお健やかに新年を迎えた事とお喜び申し上げます。

昨年に引き続き新型コロナウイルスとの攻防が続き現在感染状況は沈静化しているとはいえ、第6波への備えや変異株「オミクロン株」への対応など何とも難しい新年を迎えました。グループの皆様方には、マスク着用、手洗やうがい、三密回避など、基本行動を徹底しコロナに負けない健康な1年であることをお祈り致します。

▼昨年グループでは人材育成を主眼に多くの研修会、講演会がリモート開催されました。(4月)三菱商事 柏木本部長 県水産技術統合センター 伊藤所長、(5月)角上

魚類 柳下会長、(7月)永谷園HD今村専務、(8月)タカヤナギ 近藤顧問、(10月)MELジャパン 垣添会長

その他にも衛生講習、ハセツブ研修、ハラスメント研修などが開催されました。「社員の成長は会社の成長」共有することで全体の基盤(レベル)アップを「少数精鋭よりも多数精鋭に」などの考

新市場モデル構築へ

えを基にDX導入で業務の見直し改革を図りました。そのためにデジタル整備を急ぎプロジェクトで睨み、一挙に消費者までターゲットにして新市場法を越えたビジネスの到来となりました。5年、10年後を見据え食を担う卸売市場の新しいビジネスモデル構築を目指してまさにデジタル社会への移行期となっています。手元にあるグループ社員の研修報告(感想文)を読んでも真摯に向き合い

学ぶ心が読み取れ確かな成長を感じます。参加した社員の皆様方に心より感謝致します。▼私が特に興味を持ったのは垣添会長講演の中でのひとコマ「エシカル消費」についてである。エシカル消費とは「地域の活性化と雇用等も含む人や社会・環境に配慮した消費活動」で例えば①認証制度、②地産地消などの活動を意味する。①認証制度・主な認証としてMEL(漁業・養殖)やMSC(漁業)・ASC(養殖)などがある。その認証物を取り扱うためのCOC(加工・流通段階)認証を仙水グループ各社で取得し小売店に働きかけている。今、望むことこのままでは将来消費者の混乱が予想される。②地産地消、2021年の仙水水産における地産地消率は30%と極めて高い。好漁場仙台湾と塩釜、石巻、気仙沼のおかげである。日本の特定三種漁港13の内、宮城県には3カ所もある。今、暗い影

を落としているのは原発処理水の問題である。何としても海洋放出を止めなければならぬ。わが社の「地産地消」が吹っ飛ぶ。▼私にはエシカル消費について3つの学ぶ機会があった。平成22年(2010年)10月号の春夏秋冬に地産地消と題して詳しく述べた。①みやぎ生協様の産消提携活動について。1998年に水産部会が生まれ、日本型食生活の確立、食料の安全性、自給率向上、地域経済振興、文化の発展、自然環境の保全に寄与するなどの志の高い活動である。現在は「めぐみ野」として受け継がれている。②2001年に農水省の食料政策審議委員に就任し、食料安全保障、安定供給、自給率、食品表示、衛生品質管理、食料残渣、国民の食生活指針などについて学び討議した。2005年頃にはモーターシフト(鉄道、海運)、フードマイレージ(CO2)、カーボンフットプリント(CO2表示)、バーチャルウォーター(仮想水、水資源などの考え方に進



化した。③2003年ヨーロッパ流通視察で食品の品質を表すフランスの公的ラベル制度を学んだ。フランスの有名な言葉に「美味しいものは地方にある。食べたければ地方に行こう」伝統的な素材や調理方法を用いてブランド力が高めるやり方まで導く。特別に価格が高く維持され国民も納得し誇りを持って購入する。安さを競う事とは真逆である。日本の流通はヨーロッパから30年、米国から10年遅れていると云われているが、今回の垣添会長の講演で改めて実感した。しかしデジタル社会実現で一挙に迫り着くチャンスでもある。グループ各社の皆様方の健康と活躍を期待致します。

仙台水産

社長 本田 誠



明けましておめでとう
ございます。昨年はコ
ナ禍も真つただ中のス
タートで大変なご苦労を
おかけし、「変化はチャン
ス」と唱えながら一所懸
命仕事に励んでいただき
ました。10月から感染も
落ち着き業務関係も次第
に回復基調となりました
ことは大変喜ばしい限り
です。「お客様に喜んで
いただく」という基本に
立ち、困難から逃げず、
問題解決に真正面から取
り組んでいただき、今期
は大幅な増益となる見込
みです。また変異株の感
染拡大も懸念される中で
はありますが、仙水グ
ループ及び仙台水産が一
丸となって難局を乗り越
え、お客様から地域にな
くてはならないグループ
会社として、価値ある機
能の開発、人材育成に努
めてまいります。これか
らが勝負、本年も一致団
結、頑張りましょう。

仙台商産

社長 石森 克文



仙水グループ経営理念
「豊かな食を創造し地域
社会に貢献します」を簡
単に言い換えれば「楽し
い食卓を提供すること
でお客様に喜んでもらい
、仕事を通して自分自身
が成長し、地域社会に貢
献できる自分になるとい
うこと」です。
今年も私自身も基本に
立ち回り、お客様、出
荷者様、社員やグループ
の皆様としっかり向き合
い、成長できるような努
力していきます。その努
力の結果がグループ発展
に役立つと信じて前に進
んでいきます。コロナ感
染拡大や、水産物の高騰
働き方改革、SDGsへ
の取り組みなど、社会は
大きく変化しています。
いつの世でも変化は当
たり前であり、その先取
りが社会を制するもの思
います。
今年も一年よろしくお
願います。

仙台丸水配送

社長 鈴木 良徳



新年明けましておめで
とうございます。
昨年、弊社は試練の年
となりました。世界的に
コロナ禍からの経済活動
の改善に向けた期待が高
まり、原油価格の高騰が
続き、運行コストが大幅
に悪化しました。役員
一同、コスト改善に取り
組むとともにグループ各
社の協力もいただき何と
か乗り越えることができ
ました。今年も事故防止
活動を継続するととも
に、グループ各社の物流
改善に貢献できるよう役
職員一同努力してまい
ります。本年もよろしく
お願い申し上げます。

仙水センター

会長 熊谷 純智



明けましておめでとう

仙水冷蔵
仙台食品

社長 伊藤 真



各社の皆様に多大なご支
援、ご協力をいただきあ
りがとうございました。
両社とも人材育成強化
を柱とし、仙水冷蔵は労
災・物損事故をゼロにす
るとともに仕事の質と
サービスの向上を図り、
地域社会の発展に貢献し
てまいります。
仙台食品は、お客様へ
一生懸命対応する心と行
動で売上を伸ばし、ベン
ダー業務を遂行すること
ができました。今後とも
商談接触頻度を高め、更
なる信頼関係の構築を
図って参ります。
各社の皆様に多大なご支
援、ご協力をいただきあ
りがとうございました。
両社とも人材育成強化
を柱とし、仙水冷蔵は労
災・物損事故をゼロにす
るとともに仕事の質と
サービスの向上を図り、
地域社会の発展に貢献し
てまいります。
仙台食品は、お客様へ
一生懸命対応する心と行
動で売上を伸ばし、ベン
ダー業務を遂行すること
ができました。今後とも
商談接触頻度を高め、更
なる信頼関係の構築を
図って参ります。

イーネット

社長 佐藤 浩



明けましておめでとう
ございます。仙水グ
ループ各社の皆様には多大な
ご支援、ご協力をいた
さお礼申し上げます。
昨年は、基幹システム
を更新し新しいデジタル
化技術の導入と業務処理
の大幅なスピードアッ
プ・柔軟な拡張性を実現
いたしました。この基盤

仙水デイリー

社長 松本文彦



により安全で安心、変化
に対応できる情報処理
サービスを展開します。
当社は、グループの皆
様にご支援を頂きながら
現場の質を変え、新たな
価値を生み出すために良
質な運用サービスとシス
テム開発に挑み続けます。
新年明けましておめで
とうございます。
昨年もコロナで明け暮
れた年でしたがグループ
各社皆様のご支援、ご協
力をいただき乗り越えま
した。感謝申し上げます。
今年もコロナ明けによ
る社会環境が大きく変化
すると予測されます。海
の変化、油の高騰、海外
の魚の需要拡大による原
材料の物不足、各商品の
価格高騰が考えられます。
これに対応すべく情報の
収集と提案を通して納品
の拡大を図ります。法令
遵守・現場主義・人材育成
を実行し、社員一同取り
組んでまいります。

仙水フーズ

社長 三浦孝一郎



新年明けましておめでとうございます。おかげさまで昨年のテーマの「ギフト商品は順調に拡大することができました。今年も他社商品から学び、魅力ある商品の開発に努めます。

また、焼魚事業も大きく進展しました。干物加工の原料・製法のノウハウを活かし、美味しい焼魚を提供して得意先様より高い評価をいただきました。消費者ニーズも高く、更なる拡大を見込んでいます。

昨今、原料価格と製造コストの上昇で、厳しい環境になっていますが、お客様満足を忘れず真摯に「ものづくり」を追求すれば、活路は開けると確信しています。

仙水グループ各社様に貢献できるよう、全社員一丸となって頑張つてまいります。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

仙台鮪販売

社長 千賀 潤



新年明けましておめでとうございます。仙台水産はじめグループ各社の皆様には多大なご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

昨年は「スピード」をキーワードに新しい生活様式・ニーズに対応してきました。今年はコロナ禍に伴う供給制約や資源価格高騰など、インフレ懸念の高まりと消費者ニーズも刻々と変化すると思われまます。商品や営業提案を決断と才知を持って行い、新しい成長の礎になれるよう全社員一丸となってまい進し、グループに貢献します。

ダイスイ

社長 大森 圭



新年明けましておめでとう

ありがとうございます。

コロナ禍の中、依然として世界規模で経済が滞っておりますが、我が社の得意分野である活魚買付けと販売を粘り強く行った結果、かろうじて前年度の業績を上回る見通しです。これも全てグループ各社の皆様方の多大なるご支援とご協力があり、この場にて感謝申し上げます。

今春、新卒新入社員を1人迎えます。従業員不足が課題の当社としては嬉しい話題です。若干特殊な業界なので初めは驚くかも知れませんが、親御さんから預かる以上は貴重な戦力となるよう親切丁寧に、かつ粘り強く指導したいと思ひます。

桃浦かき生産者合同会社 代表社員 大山 勝幸



新年明けましておめでとうございます。

昨年は仙水グループ各社の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただき

ありがとうございます。

今シーズンには、昨年に比べ牡蠣の生育は非常に良く台風被害もなかったことから順調な水揚げができています。今、当社が抱える課題として社員の高齢化が切実な課題として上げられます。生産部の約半数の6人が高齢者で海上作業に苦慮していることや牡蠣むき作業員の方々も高齢です。

世代交代、若返りが喫緊の課題となっております。生産部長の嘉登清春君は設立2年目の入社です。急な大役指名でも、臆することなく頑張る彼を皆で強力にバックアップしていきたいと思ひます。

中央水産花巻 社長 坂井 義昌



新年明けましておめでとうございます。

仙水グループ各社の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。昨年は本格的にEC事業に取り組み、右往左往

しながらも無事新年を迎えることができました。

これは偏に仙水グループの皆様、お取引先様のご協力があつてこそと実感しています。

水産加工場を運営するに当たり、様々な課題や問題点も浮き彫りになりました。課題は新年度の計画に落とし込み従業員一人ひとりが基本に忠実に行動して、成果を上げることを目標に努力してまいります。地域社会と仙水グループに貢献できる企業になれるように取り組んでまいります。

秋田丸魚 社長 加藤 研吾



新年明けましておめでとうございます。

仙水グループの一員となり早いもので7年が経ちました。コロナ禍を抜け出ない昨年中はグループの皆様にも多大なるご支援、ご協力をいただきました。今年こそ自主・自立の精神で、経営力を強化し

恒常的な業績向上を実現

します。秋田県拠点市場としてお客様第一主義で変化に対応できる柔軟性を養い、県内外の量販店・業務筋への対応を拡大します。秋田からの商品情報発信に今後も鋭意努力いたす所存です。

STC

社長 千葉 祐之



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが収束していない状況ですが、その中でも食品輸出の概況は好転しつつあります。政府が目標としてきた食品輸出1兆円も令和3年達成し、2030年5兆円の目標に向けて様々な施策が動き始めています。今年が宮城県の輸出事業の受託、事業活動も行いつつ着実にグループ各社との輸出拡大活動を更に深めていきます。水産品に限らず、畜産品、農産品の輸出も拡大し、海外優良顧客の獲得と継続輸出も行う予定です。

仙台水産
大平水産

社長 鈴木雄一



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は仙台水産はじめ仙水グループ各社の皆様にはご支援、ご協力をいただきありがとうございます。今年も社会が目まぐるしく変化すると思えます。スピード感を持って対応し「お客様第一」で「お客様に喜んでいただく」ことをモットーに、知恵を出し常にお客様のためにできること、困っていることへの解決を最優先に行動します。お客様に寄り添い質の良い営業を行います。常に基本を忘れず「ワンチーム」、一致団結し数値目標を達成します。

鈴力水産

社長 山口清一



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、仙台水産はじめグループ各社の皆様よりご支援、ご協力をいただきました。新年度は鈴力水産の3つの強みである「お客様」、「社員の熱意」、「グループ各社との連携」を柱に、一つひとつ仕事を誠実に取り組んでまいります。目まぐるしい環境変化に対応し業績確保を実現します。

東海 栄進流通

社長 阿部 正之



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、仙台水産はじめグループ各社の皆様にご支援、ご協力をいただき、栄進流通ともども深く感謝申し上げます。一昨年3月頃から猛威を振るった新型コロナウイルスが現在、鎮静化に向かっていきます。人の生活様式、消費行動を一変させたコロナ禍。得た教訓を活かし全従業員で得意先様に親切、丁寧に対応します。

松洋水産

社長 奥津 淳一



明けましておめでとうございます。

昨年中は、仙台水産はじめグループ各社の皆様にご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。当社はコロナ禍の中、リモートを活用しお客様とのコミュニケーションを大切に進めてきました。今年はスピード感を持ってお客様の声を聴き、困っていることがあれば一緒に解決に向けて努力します。お客様第一主義で、社員一丸となり更なる信用をいただける会社に成長します。数値目標を達成し健全経営に努めていく所存です。

門間水産

社長 曾我 佳充



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は仙台水産はじめグループ各社の皆様からご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。昨年、新型コロナウイルス感染後の重篤率に、高血圧、高血糖、肥満が関与することが判明し、生活習慣病への関心が高まりをみせたことから魚食普及のチャンスと捉えています。

本年は社会環境に迅速に対応し、お客様に喜んでいただけるよう常に考えながら行動します。経済を含めV字回復を願いながら社員一丸となつて明るく元気に頑張ります。

東北鈴丸水産

社長 寺島 英行



新年明けましておめでとうございます。

仙台水産はじめグループ各社の皆様には日頃よりご支援を賜りありがとうございます。コロナ禍2年目となった昨年は今までにない厳しい数字となりました。新年を迎え、今年こそは経済のV字回復を祈っております。

おります。当社社内体制の見直しや業績向上を目指す新たな指針をつくり、干支の虎のように前向きにチャレンジしてまいります。

グループ各社の更なるご指導ご鞭撻をより多くお願い申し上げます。

丸正水産

社長 阿部 靖公



新年明けましておめでとうございます。

仙水グループの皆様方にとつて本年が良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。新型コロナウイルスも国内においては収束傾向にあります。他国ではオミクロン株が拡大しており国内での再拡大も懸念されます。原油高止まりが経営上の大きな負担となつており益々の経費削減が求められます。厳しい環境ですが全社員で明るい兆しを的確に捉えた仕事創りに努めます。本年もどうぞよろしく申し上げます。